

クリーンセンター新施設建設に係る既設杭の撤去費用

○クリーンセンター施設整備・運営事業費 債務負担行為補正(追加) 900万円

【概要】 クリーンセンターの新施設は、旧東谷処理場の解体後に更地となっていた場所に建設する計画だが、地下掘削工事中に旧東谷処理場の既設杭が発見され、撤去が必要となったことに関連する費用を計上するもの。

質疑 旧東谷処理場の建設工事において、その当時の土木工事、機械設備工事などの図面が別々にあったのではないか。

答弁 通常別々の図面があるが、今回のケースは地上部が解体済みであり、解体撤去工事の実施設計書しか残っておらず、その図面には杭の図示がなかった。

質疑 旧東谷処理場の解体撤去工事の実施設計書の図面では、既設杭が図示されておらず、杭の存在が事前に想定できなかったとのことだが、想定することはできたのではないか。

答弁 図面を信用して対応し、掘削した段階で判明する結果となった。今後は、万が一のリスクにも気付けるよう、発注前に意識を高めて十分に注意する必要があると考えている。

地域福祉分科会



12月12日

議案第65号 令和7年度鈴鹿市一般会計補正予算(第2号)

障害児通所支援の増加

○障害児通所支援事業費 1億1,000万円

【概要】 支給決定者数や延べ利用者数の増加などに伴い、事業費を精査した結果、各サービスに係る負担金の増額または減額を行うもの。

質疑 当初予算よりも増額になる理由を分析しているのか。

答弁 利用人数の増加に伴って事業所数が増えているとは思われるが、サービスの支給対象が増えていることと事業所数の増加が必ずしも直結しているとは考えていない。児童サービスでは、圧倒的に放課後等デイサービスの利用者数が増えている。本市が取り組んでいる5歳児健診をはじめ、発達検査の成果として、児童サービスの利用を勧めていることにより、利用の増加につながっていると考えている。